

# 第1章 第2期郡上市観光振興ビジョンの基本的な考え方

平成22年3月に策定した郡上市観光振興ビジョンの計画期間が平成28年3月までとなっており、従来のビジョンの施策の見直しと新たな観光振興体制や方向性について定めるものです。

## 1. 5か年計画

- 第2期郡上市観光振興ビジョンは、上位計画である第2次郡上市総合計画などと整合性を図るため下記期間を計画期間とします。

期間 平成28年度～平成32年度

## 2. 基本目標の設定

- 基本となる施策には従来からの施策4分野に加え1分野を追加し、さらに新たな事業展開を行うためのビジョンを設定します。

## 3. 本ビジョンと関連計画の一体的な推進

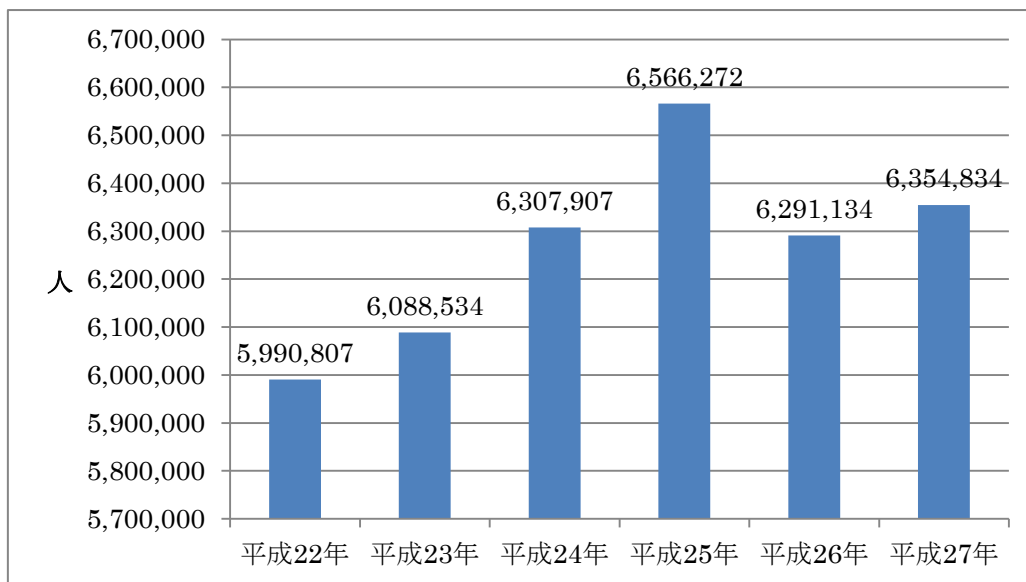
- 平成27年度策定する郡上市総合計画の「みんなで考え、みんなで作る郡上」を基本理念とした、「住みたいまち郡上（安心）」「輝きたいまち郡上（活力）」「訪ねたいまち郡上（交流）」の実現を目指すため、観光分野での方針を定めるものです。

また、「郡上市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」や「八幡都市計画区域マスタープラン」との整合性も図りながら計画を推進していきます。

## 第2章 地域の現状と課題

### 1. 観光動態

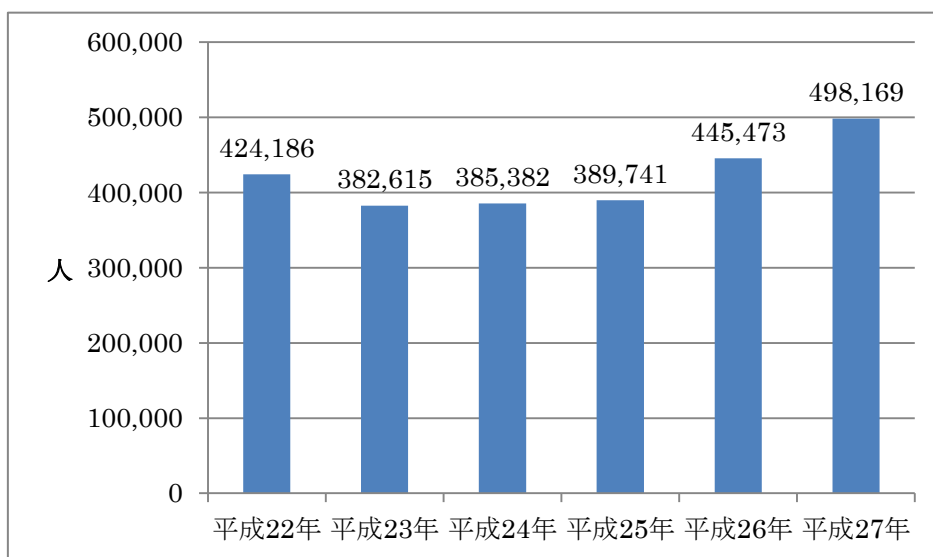
#### (1) 入込客数



出典) 郡上市

入込客については、スキー場の通年営業や國田家の芝桜、ぼたん園、食品サンプル体験施設などが好評で、順調に推移していましたが、平成26年は屋外の観光施設を中心に雨天の影響により入込が減少しました。

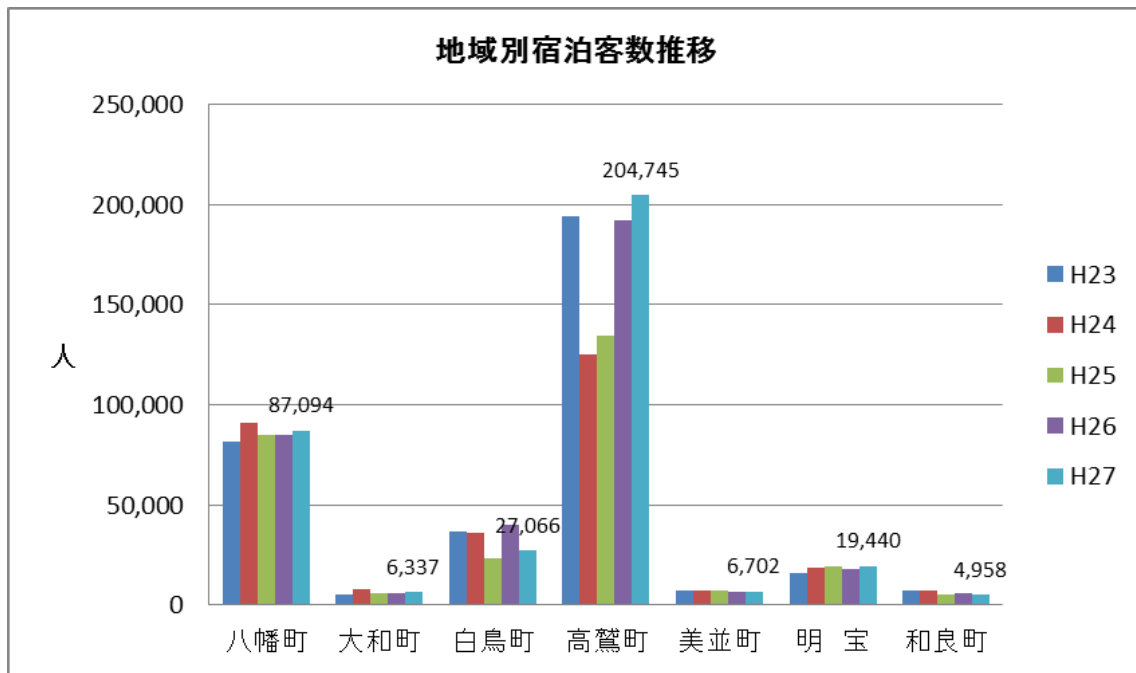
#### (2) 宿泊客数



出典) 郡上市

平成26年現在、市内の宿泊施設は、ホテル、民宿を合わせて166施設あります。平成25年から平成26年にかけて宿泊客数が14%の増加となっている要因として、夏場休業していたリゾートホテルが通年営業になったことと、郡上市から高山市、白川郷などへ向かう観光客の利用が増加したためと思われます。

(3) 地域別宿泊客数推移



出典) 郡上市

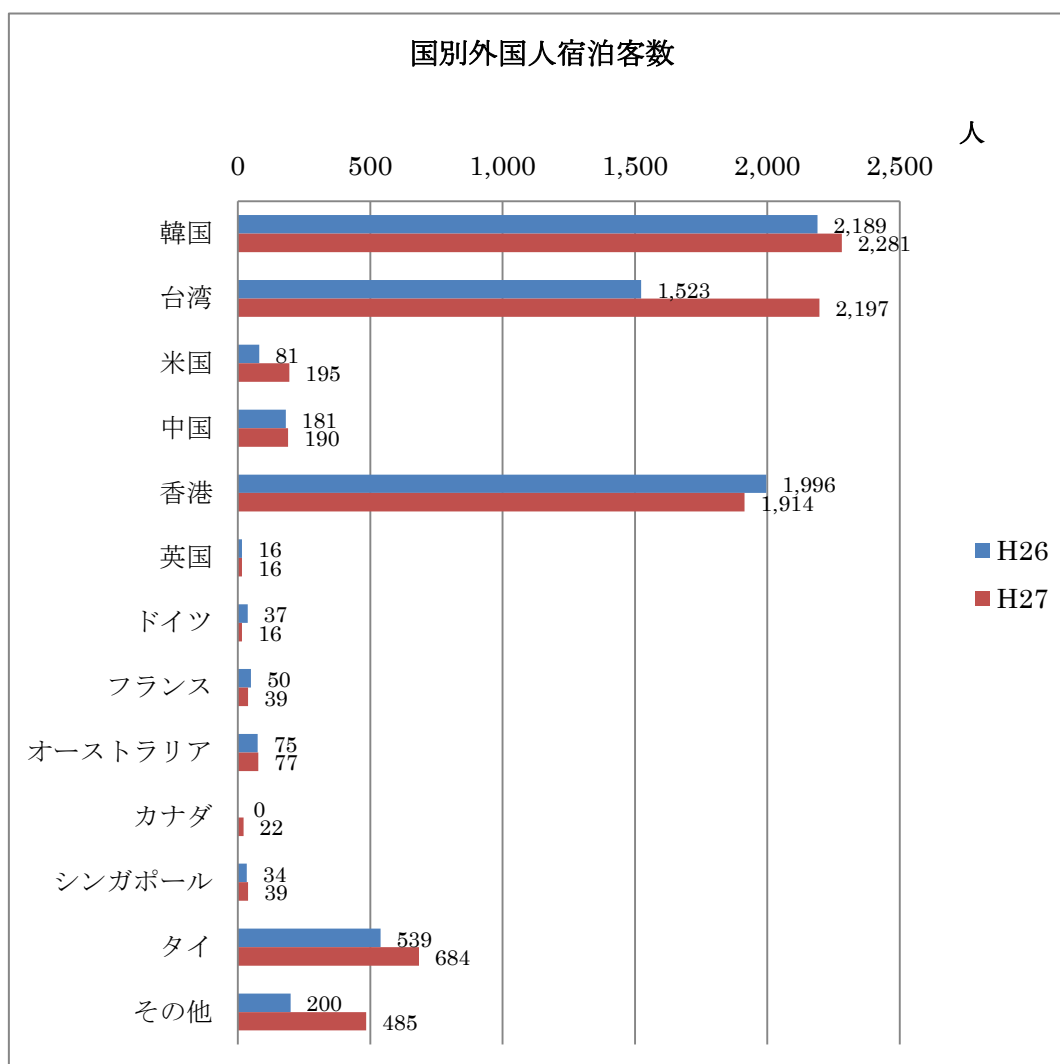
南北に広い郡上市において、宿泊客の特性として季節変動が大きいことがあげられます。徹夜おどりなど宿泊施設が込み合う時期については、市外に宿泊施設に宿をとるケースがあります。逆に冬季は北部を中心にウインタースポーツを行う方の宿泊が多くなっています。傾向として、郡上全体では収容人数はありますが、温泉付き旅館、ホテル、民宿など観光客の求める宿泊施設のバリエーションが不足しているため市外へ宿泊されるものと思われます。

今後はこれらの各地域において、宿泊減少期の利用促進を図りピーク時の平準化を図る必要があります。

(4) 国別外国人宿泊客数

外国人宿泊客数は、円安による日本への旅行の割安感やビザ発給条件の緩和措置が主な原因で増加傾向となっています。国別では韓国が伸びた理由として、ゴルフやスキーなどスポーツを行うため郡上市へ来訪する方が多いと思われ、台湾、タイについては、訪日客が依然として増加しているため宿泊につながっているものと思われます。

なお、団体ツアー等の受入可能な市内宿泊施設数が限られることから、宿泊施設の状況や団体旅行のコース設定等によって、前年との比較が大きく変動するケースがみられます。



出典) 郡上市

## 2. 郡上市 GAP 調査

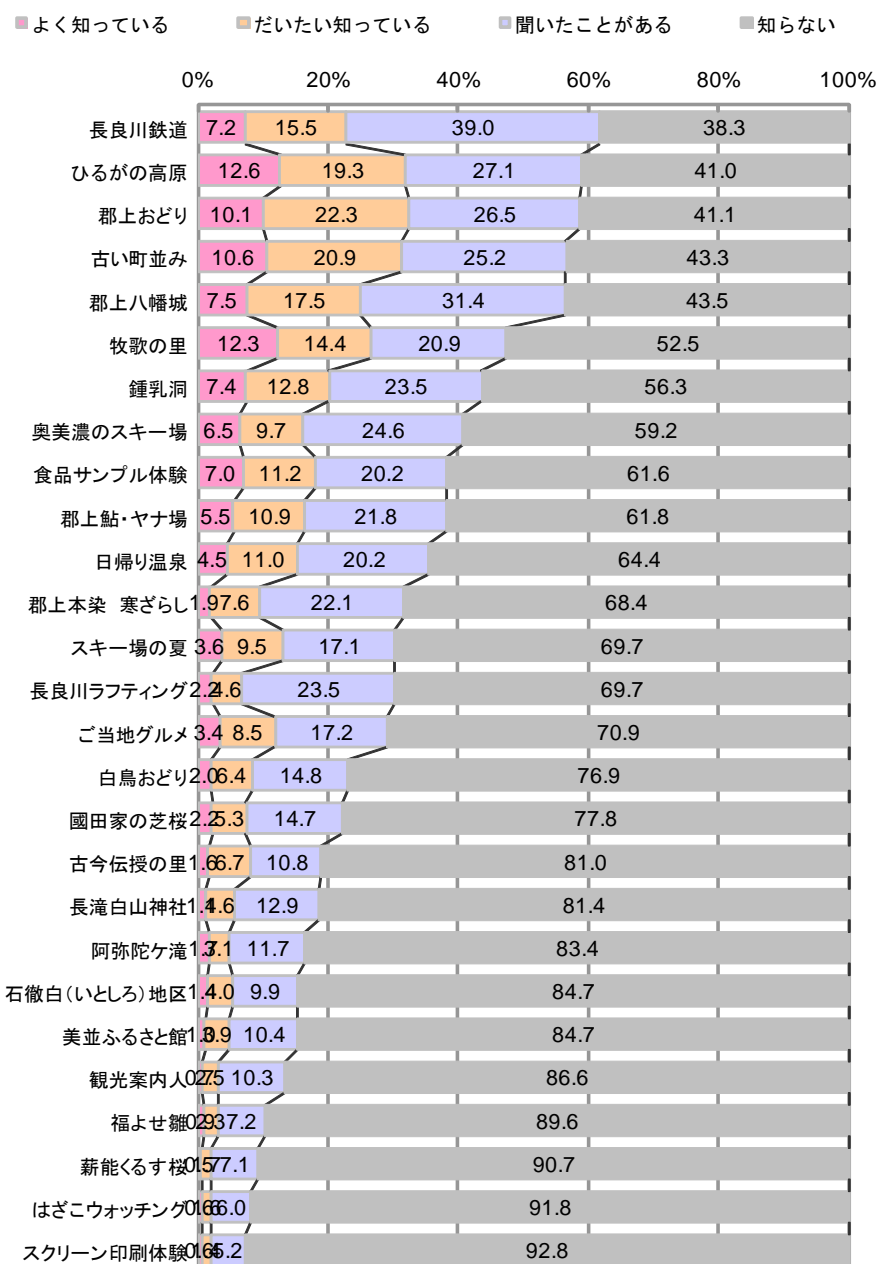
郡上市GAP調査は郡上市が持つ観光資源について、1,000人の消費者の目から、観光地としてのイメージを聞き、“どれくらいの人認識”しているか、またどのくらい“魅力を感じるか”を比較します。

そうした地域の「認知度」と「興味度」を把握しそのギャップを可視化することで共通の認識を持ちながら効果的な観光振興や今後の施策や企画の実施に役立てるために実施しました。

- 調査期間 平成26年3月7日（金）～平成26年3月9日（日）
- 動態観測対象 インターネットリサーチ モニタ会員 1,050名
- ターゲット設定 20歳以上  
男性50.0% 女性50.0%
- 居住都道府県 愛知県312名  
岐阜県106名  
東京都106名  
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県208名  
静岡県106名  
富山県、石川県、福井県106名  
徳島県、香川県、愛媛県、高知県106名

(1) 郡上市の観光スポットに関する認知度・興味度

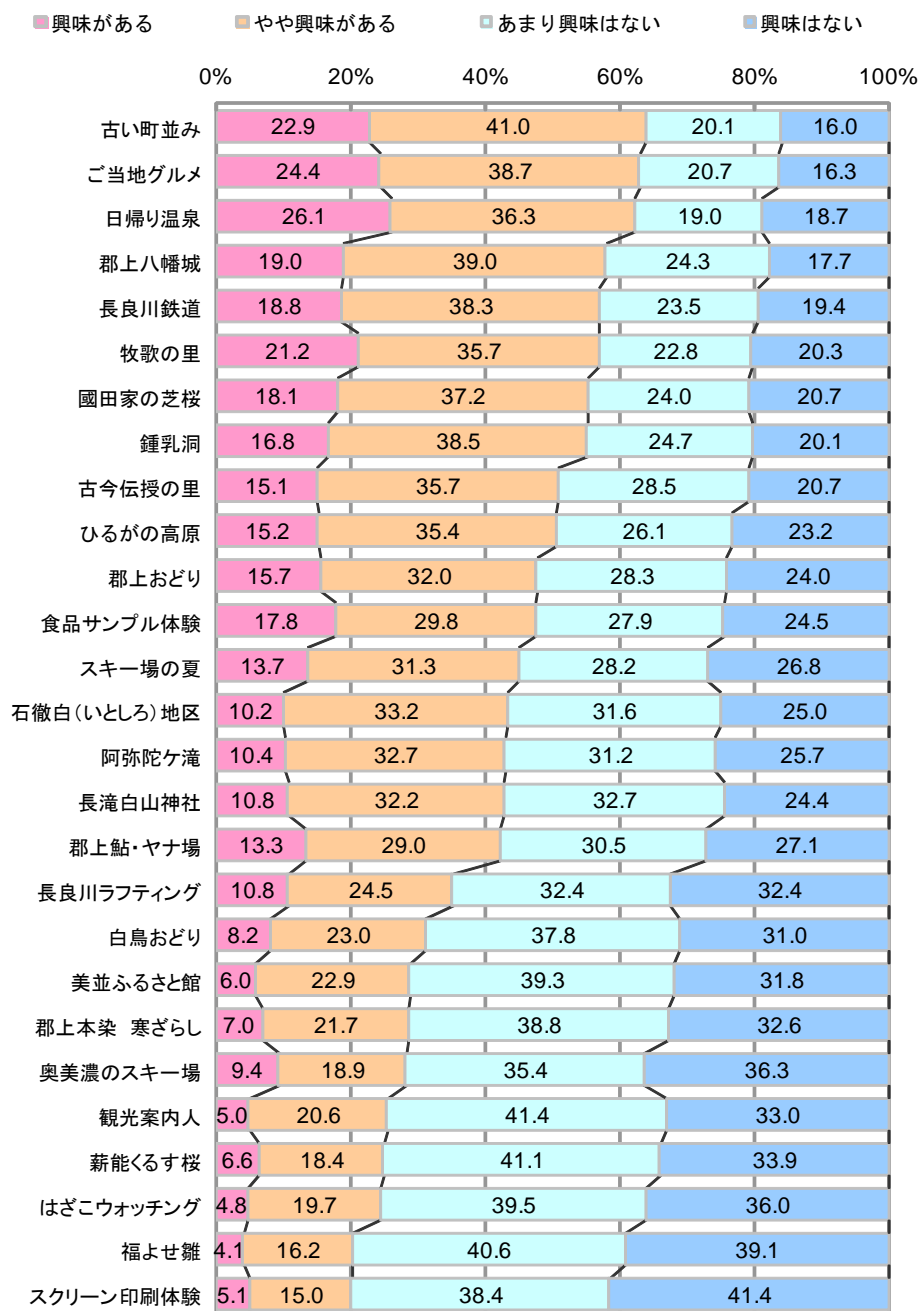
【認知度】



出典) じゃらんリサーチセンター

「よく知っている」「だいたい知っている」「聞いたことがある」を合わせた認知度で高かったのは、「長良川鉄道」61.7%、「ひるがの高原」59.0%、「郡上おどり」58.9%となっています。一方低かったのは、「はぎこウォッチング」、「スクリーン印刷体験」となっています。

【興味度】

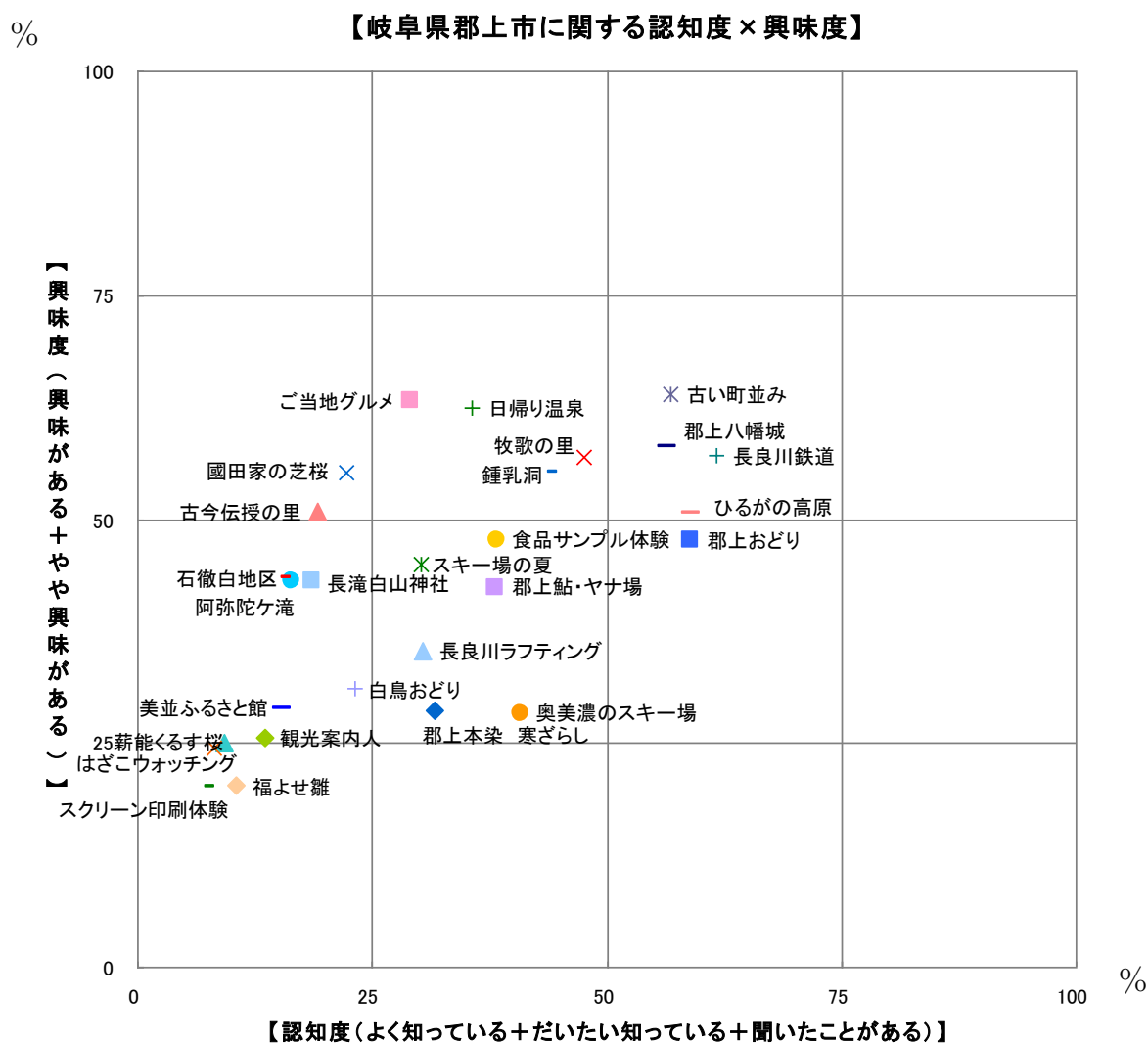


出典) じゃらんリサーチセンター

「興味がある」「やや興味がある」を合わせた興味度が高かったのは、「古い町並み」63.9%、「ご当地グルメ」63.1%となっています。

一方低かったのは、「福よせ雛」、「スクリーン印刷体験」となっています。

(2) 郡上市の観光スポット認知度・興味度（散布図）



出典) じゃらんリサーチセンター

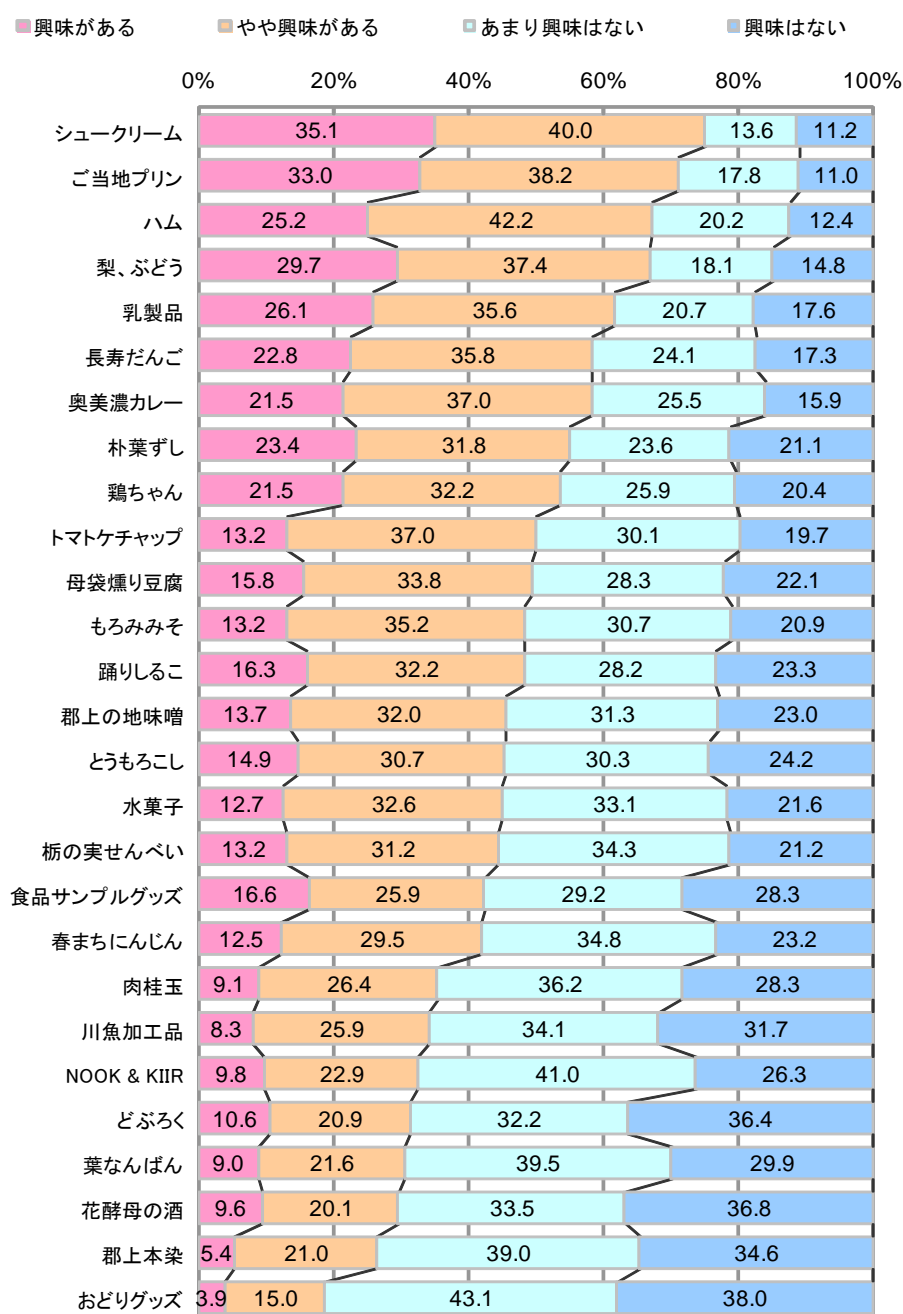
認知度・興味度の結果から散布図から右上の古い街並み、郡上八幡城、ひるがの高原などは「興味度も高く、広く知られている」と思われます。左上の国田家の芝桜、古今伝授の里などはあまり知られていなかった人気スポットの可能性があるので、磨けば延ばせる可能性があります。

左下の美並ふるさと館、福よせ雛、薪能くるす桜、スクリーン印刷体験などは興味度・認知度とも低いため、事業として内容や方向性の再検討が必要であると思われます。



(3) 郡上市の土産・特産品に関する興味度

【興味度】



出典) じゃらんリサーチセンター

「興味がある」「やや興味がある」を合わせた「興味度」で高かったのは、「シュークリーム」75%、「ご当地プリン」71%、「ハム」67%となっています。一方、低かった項目は、「おどりグッズ」19%、「郡上本染」27%、「花酵母の酒」30%となっています。

3. 郡上市ビッグデータ調査レポート（携帯端末による調査）

- データ利用期間 平成26年8月1日～平成26年10月31日
- 動態観測対象 a u携帯端末利用者が郡上市内に60分以上滞在した人。ただし、郡上市居住者・通勤者、7泊以上旅程者および高頻度来訪者は除外。

(1) 地域別 郡上市来訪者（平成26年8月～10月）

【来訪者数・構成比】			
順位	発地地域	来訪者数(人)	構成比
1	東海	4,891	77.4%
2	甲信越・北陸	625	9.9%
3	近畿	473	7.5%
4	首都圏	247	3.9%
5	中国	30	0.5%
6	北関東	24	0.4%
7	九州・沖縄	12	0.2%
8	四国	10	0.2%
9	北海道・東北	****	****
-	合計	6,321	100.0%
出典) リクルートリサーチセンター			

東海地区からの発地者が多いのは愛知県と岐阜県で77.4%と大半を占めます。近畿では大阪府発地者が最も多く、7.5%となっています。

(2) 郡上市来訪者 旅程別男女・年齢別構成比(平成26年8月～10月)

【性別・年齢別構成比】								
NO	旅程	来訪者数 (人)	男性			女性		
			10～34歳	35～49歳	50歳以上	10～34歳	35～49歳	50歳以上
-	全体	6,321	16.6%	15.1%	20.7%	15.8%	12.9%	18.9%
1	日帰り	3,576	15.5%	14.4%	22.2%	14.8%	12.7%	20.4%
2	域内1泊	620	21.1%	18.7%	14.0%	20.9%	15.1%	10.2%
3	域外1泊	980	17.2%	13.8%	20.9%	16.3%	11.5%	20.2%
4	1泊宿泊地不明	87	19.3%	22.6%	13.4%	18.6%	14.3%	11.8%
5	域内2泊	108	11.1%	18.9%	20.6%	14.9%	22.3%	12.2%
6	域外2泊	331	14.7%	15.3%	24.2%	16.6%	11.8%	17.4%
7	域内外各1泊	98	15.0%	17.3%	15.7%	16.2%	10.7%	25.1%
8	2泊宿泊地不明	66	19.7%	****	****	17.4%	16.4%	23.8%
9	3泊以上	455	20.3%	15.8%	18.8%	14.3%	13.2%	17.6%
出典) リクルートリサーチセンター								

日帰り者は男女50歳以上が多い状況となっています。域内1泊は男女10～49歳、域外1泊は男女10～34歳、男女50歳以上が多くなっています。また、1泊者は女性に比べ男性が多くなる傾向がみられます。

2泊者は旅程によって男女・年齢別の特徴が顕著に表れています。域内2泊は男女35～49歳が多く、域外泊を含む旅程は男性35歳以上、女性50歳以上、女性10～34歳が多くなっています。3泊以上の旅程は男性10～34歳、女性35～49歳が多くなっています。

(3) 郡上市来訪者 宿泊人泊数・構成比（市区町村）

【宿泊人泊数・構成比】				
順位	市区町村	都道府県	宿泊人泊数(人泊)	構成比
1	郡上市	岐阜県	1,388	32.1%
2	高山市	岐阜県	664	15.4%
3	下呂市	岐阜県	262	6.1%
4	名古屋市	愛知県	165	3.8%
5	岐阜市	岐阜県	126	2.9%
6	金沢市	石川県	68	1.6%
7	関市	岐阜県	68	1.6%
8	富山市	富山県	62	1.4%
9	高岡市	富山県	46	1.1%
10	飛騨市	岐阜県	44	1.0%
11	大野郡白川村	岐阜県	44	1.0%
12	美濃加茂市	岐阜県	43	1.0%
13	松本市	長野県	43	1.0%
14	各務原市	岐阜県	42	1.0%
15	一宮市	愛知県	39	0.9%
16	大垣市	岐阜県	36	0.8%
17	小牧市	愛知県	34	0.8%
18	加賀市	石川県	33	0.8%
19	大野市	福井県	28	0.7%
20	南砺市	富山県	27	0.6%
-	その他		1,056	24.4%
-	合計		4,319	100.0%
出典) リクルートリサーチセンター				

8月～10月の期間に郡上市へ60分以上滞在した観光客が、どこで宿泊を行ったかを調査した結果、岐阜県内では、郡上市、高山市、下呂市、岐阜市での宿泊傾向が多くなっています。

岐阜県外では名古屋市、金沢市へ宿泊者が流れている傾向となっています。

(4) 郡上市域外観光エリア来訪者 周遊ルートランキング

順位	周遊コース	来訪者数(人)	構成比
1	高山市	772	28.2%
2	関市+美濃市	610	22.3%
3	名古屋市	409	14.9%
4	下呂市	151	5.5%
5	白川村	147	5.4%
6	高山市⇔白川村	113	4.1%
7	名古屋市⇔関市+美濃市	94	3.4%
8	高山市⇔名古屋市	87	3.2%
9	高山市⇔関市+美濃市	82	3.0%
10	高山市⇔下呂市	81	2.9%
11	高山市⇔下呂市⇔関市+美濃市	35	1.3%
12	高山市⇔白川村⇔関市+美濃市	27	1.0%
13	高山市⇔白川村⇔下呂市	25	0.9%
14	下呂市⇔関市+美濃市	24	0.9%
15	下呂市⇔名古屋市	21	0.8%
16			
-	その他	60	2.2%
-	合計	2,737	100.0%
	出典)リクルートリサーチセンター		

観光客の方が自宅を出発し、郡上市へ来るまでにどこへ立ち寄ったのか、また逆に、郡上へ立ち寄ったのちどこへ向かったのかを調査したところ、「高山市」が28.2%と最も多い傾向となっています。次いで、「関市+美濃市」が22.3%と多い結果となっています。

例) 自宅 出発→郡上60分以上滞在→下呂市60分以上滞在

→高山市60分以上滞在→帰宅 ※逆の場合もあり。

### 3. 郡上市の観光の現状と課題

岐阜県のほぼ中央に位置する郡上市は、清らかな空気、透き通る水、どこまでも続く山々など、四季折々の自然に囲まれた美しい里です。名古屋からはJR高山本線、美濃太田駅でローカル鉄道「長良川鉄道」に乗り換え、季節によって表情を変える山々の間を流れる清流長良川の美しい風景を眺めながらお越しいただくと、日常をはなれ、自然に癒されながらゆったりとした時間を楽しむことができます。平成28年4月からは、長良川鉄道の観光列車「ながら」が美濃太田駅と郡上八幡駅間（1両は白鳥駅又は北濃駅まで）を運行し新たな観光資源として注目されています。

郡上市の観光の特徴は、大きく分けるとスキー&スノーボード中心のウィンタースポーツ、鮎釣りやラフティング、カヌー、キャンプなどのアウトドアレジャー、もう一つが歴史と文化、さらには「郡上おどり」「白鳥おどり」に代表されるおどりのまちです。次に歴史と文化については、「白山文化」「古今伝授の里」、既にブランド化された「城下町・郡上八幡」や「高賀山と円空」と北から南へ郡上を貫き独特の文化があり、それらはどれも全国に誇れる極めて質の高い貴重な文化資源となっています。近年、各スキー場では花の周遊観光やサマーゲレンデ、フィールドアスレティックなどの森林レクリエーション、釣り堀、山頂バーベキューなど通年営業に向けた取り組みを行っています。

海外においては平成18年から国のビジットジャパンキャンペーンに呼応し外国人誘客事業を開始し、他自治体との連携や「昇龍道プロジェクト」などを推進し、台湾や東南アジア諸国から多数来日するようになりました。

今後は、平成27年12月15日に世界農業遺産に登録された「清流長良川の鮎～里川における人と鮎のつながり」を活用した取り組みを実施するとともに平成30年度オープンを目指して県が整備する（仮称）長良川あゆパークによる地域食材を活用した魅力ある食の開発、体験メニューや周遊型観光誘客プランなど円滑な運営ができるよう支援を行っていきます。

#### (1) 郡上市八幡町

現状)

「郡上八幡」は水のまちとして、平成24年12月28日に北町の一部が重

要伝統的建造物群保存地区にも選定された古い町並みを用水路がめぐり、名水百選「宗祇水」や「やなか水のこみち」と呼ばれる水路など名水スポットが点在しています。町中どこからでも見える郡上八幡城は日本最古の木造再建築城です。

郡上おどりは430年以上の間、唄い踊り続けられてきた伝統芸能で日本を代表する民踊の一つであり、32数夜開催される日本一ロングランな盆おどりとしてたくさんの方が訪れます。

外国人観光客などには食品サンプルの町としてサンプル作り体験が人気となっています。

課題)

高山市や白川郷、下呂温泉へ向かう立寄り地となっているため、宿泊客数が減少傾向となっています。そのため、郡上八幡旅館組合では温泉の配湯を行うことによる温泉地としての魅力を発信するよう検討を行っています。

城下町の景観を形成する町屋が空き家となりつつあるため、空き家対策を行い景観の保全に努めています。

まち歩きなどの外国人観光客や、小中学生の校外研修等が増加し、それに伴い年間7,000台以上の観光バスが市街地に流入し、ピーク時駐車場が不足しています。

### (2) 郡上市大和町

現状)

旧大和町時代から“古今伝授の里”というコンセプトをつくり、それに基づき地域づくりを展開してきました。主な観光資源としては、道の駅「古今伝授の里やまと」、やまと温泉、古今伝授の里フィールドミュージアムです。平成21年度に「古今伝授の里やまと 食・文化再生特区」の指定を受けた「どぶろく」によるイベントを実施しています。

課題)

郡上大和総合開発株式会社を中心とした観光地域づくりを持続的に発展させ、大和ブランドなどの差別化を個人事業者の経営支援や新たな事業の創出を行いながら、地域全体でどのように実施していくかが課題となっています。

### (3) 郡上市白鳥町

現状)

白鳥町はその昔、富士山・立山と並ぶ三名山の一つ、白山への信仰の東海側の拠点「美濃馬場」として、登拝者は「上り千人下り千人」といわれるほどにぎわいました。主な観光資源は長滝白山神社、白山中居神社、阿弥陀ヶ滝などの白山文化、白鳥おどり、スキー場となります。

白山信仰、白山文化については2017年に白山開山1300年記念を迎えるにあたり、各種イベントが実施されることからこの地域の認知度があがるものと期待されます。

課題)

北陸自動車道と東海北陸自動車道を結ぶ中部縦貫自動車道が福井県内で着々と整備され、平成34年の福井県敦賀までの北陸新幹線延伸も間近に迫っています。平成27年度設立した大野市・郡上市「道の駅」連絡協議会などとの情報交換やそれに伴う新たな道の駅の開設、(仮称)長良川あゆパークなどを絡めた周遊ルートの確立、白山開山1300年記念事業を活用した市内外へのPR活動の実施による認知度の向上を行っていく必要があります。

#### (4) 郡上市高鷲町

現状)

東海圏域最大の入込数を誇るスキー産業を中心として発展してきましたが、若者の趣味の多様化などによるスキー人口減少や日帰り客の増加による客単価の減少などがあり、会員の大半を占める宿泊業者は他にも仕事を行っている兼業が多くなっています。そのため夏場のスポーツ合宿村構想による吠高原スポーツ広場を活用したサッカー、ラグビーなどの合宿誘致にも力を入れています。近年、スキー場が通年営業に向け、花の周遊や森林レクリエーションなどの取り組みを実施し、通年営業と雇用に向けた取り組みを行っています。

課題)

宿泊施設については、兼業事業者が多いこともあり若い世代への引継が出来ている宿泊業、後継者がおらず経営者が高齢化している事業所があり、後継者不足により廃業する宿泊業者などもあります。

東海北陸自動車道 白鳥IC～飛騨清見IC間の4車線化により、ますます日帰り客の増加による宿泊施設の減少が心配されています。



### (5) 郡上市美並町

現状)

郡上の南部に位置し、夏の観光ヤナとラフティングが盛んです。修学旅行などではラフティングを行うため郡上を選ぶ学校も多数あります。

日本の真ん中という地理的位置と円空仏が観光振興の柱でしたが、桂昌寺のぼたん園やあじさいを目当てにたくさんの方が訪れる観光スポットとなっています。

また、道の駅美並では地元食材を活用した「ごっつお弁当」の開発・PRを行っています。

課題)

円空仏などは単独では魅力の発信に乏しいため、岐阜県全体に点在する博物館をまとめた周遊ルート開発を県とともに進めていくよう準備を進めています。桂昌寺のぼたん園と古今伝授の里フィールドミュージアムのぼたん園は、開花時期が異なるため、連携による宣伝活動の実施を行いさらなる集客に努めていく必要があります。

観光ヤナなどでは世界農業遺産（平成27年12月15日認定：清流長良川の鮎～里川における人と鮎のつながり）を活用した取り組みを広域で推進していく必要があります。

### (6) 郡上市明宝

現状)

旧明宝村では第3セクター株式会社を中心に観光と農業を結合した地域振興を図ってきました。イベントでは明宝音楽祭などを実施し集客を図ってきましたが、従事者の高齢化や地域への効果が薄いなどの理由により開催が困難となってきたため、変わってNPO法人などと連携を行いイベントを実施しています。地域の新たな取り組みとして、地域おこし実践隊による民泊や自然体験など着地型商品の開発を行っています。

課題)

東海北陸自動車道などの開通により、せせらぎ街道の通行車両の大幅な増大が見込まれない状況となっていますが、国土交通省の「重点道の駅」制度による選定を受け他にはない特色あるお店が出店を行い、立ち寄り客の誘客へ向けた取り組みを行っていく必要があります。

今後は、イベントによる観光客の量的拡大ではなく、リピーターを増やし滞在時間を延ばす着地型の取り組みが必要となります。

せせらぎ街道を愛する会（郡上市八幡町、郡上市明宝、高山市清見町）などで連携を強固に行いながら周遊ルートの確立を行い、滞在時間を延ばす取り組みを実施する必要があります。新たなめいほうトンネル開通を視野に入れた小川地区など観光素材の磨き上げを観光協会や明宝ツーリズムネットワークセンターなど民間団体と連携をとり行っていく必要があります。

### (7) 郡上市和良町

現状)

地域の主な観光資源は、清流めぐり利き鮎会で過去に3度のグランプリを受賞した「和良鮎」、天然記念物のオオサンショウオなどでしたが最近では和良蚩も新たに加わっており、豊かな水辺の環境が残されています。

他にも全天候型運動施設によりテニス、ゲートボールなど他市からの利用も盛んです。

課題)

観光振興の取り組みは個別的で、地域資源を組み合わせるなど複合的な活用ができていませんでした。そのため観光振興への取り組みが弱かったと思われます。現在は和良おこし協議会が地域活性化の一翼を担っており、移住交流などの取り組みを通じ、地域の魅力が最大限発信できるよう支援を行っていく必要があります。

濃飛横断自動車道 和良金山トンネルの開通など道路網の整備により、郡上八幡から下呂までの移動時間が短縮されることから、通過点とならないよう観光客を呼び込んでいく必要があります。

## 第3章 基本構想

### 1. 観光振興の基本理念

郡上市には多くの観光資源があります。それら観光資源の認知・興味度を測り注力すべき観光資源を絞り込むための調査を行ったところ、今後磨けば光る素材がたくさんあることがわかりました。

郡上市が豊かになるためには、郡上市の資源を磨き光らせてみせるこの「観光」が軸になると考えます。ここでいう「豊か」とは、今より少し経済的に豊かになること、社会や文化が豊かになること、かつ継続する豊かさを意味します。

自然や歴史、文化を大切にしながら、本物に感動できる郡上市としての魅力を高めつつ、長い時間滞在してもらえらる質の高いおもてなしを目指す

基本理念

**「訪ねたい、滞在したい郡上づくり」**

を掲げます。

### 2. 郡上市の観光の目指す姿

基本理念を基に、郡上市の目指す観光の将来像を次のとおり掲げます。

**四季を通じて、誰もがさまざまなメニューを楽しみ、満足して帰っていただける観光のまちを目指します。**

#### 【通年観光の実現】

郡上市は春は桜、夏はおどりや川遊び、秋は紅葉、冬はスキーといった多様な資源で楽しめるまちです。通年営業を目指し夏場営業にも力を入れているスキー場など、企画や宣伝を加えればまだまだ伸びるものと思われまます。幅広い

年齢層に四季通じて楽しんでもらえる観光のまちを目指します。

#### 【資源の総活用】

郡上市には多様な資源があります。観る、食べる、体験する、学ぶことをいろいろなメニューで楽しめる観光のまちを目指します。

#### 【本物に感動いただけるまちづくり】

「旬のもの」を、また「本物」を提供し、歴史や自然、体験などを通じて感動してもらえる観光のまちを目指します。

#### 【着地型観光と体験メニューの充実】

魅力ある着地型観光や体験メニューの企画・充実を図り、観光客が体験や学びのなかで市民とのつながりを深め、何度でも訪れたい、訪れやすい観光のまちを目指します。

#### 【外国人観光客にやさしいまちづくり】

外国語の案内板や施設内の表記、Wi-Fi整備など外国人にやさしい観光のまちを目指します。

**市民・事業者・行政が参加・連携して、心からのおもてなしを提供する観光のまちを目指します。**

#### 【みんなが力を合わせる】

郡上市に住む人たちが力を合わせ、 $1 + 1 = 2 + \alpha$ になるような観光のまちを目指します。

#### 【郡上ならではのサービスの提供】

「郡上ならではの」の質の高いおもてなしで、観光客の心を魅了するサービスを提供する、質の高い観光のまちを目指します。

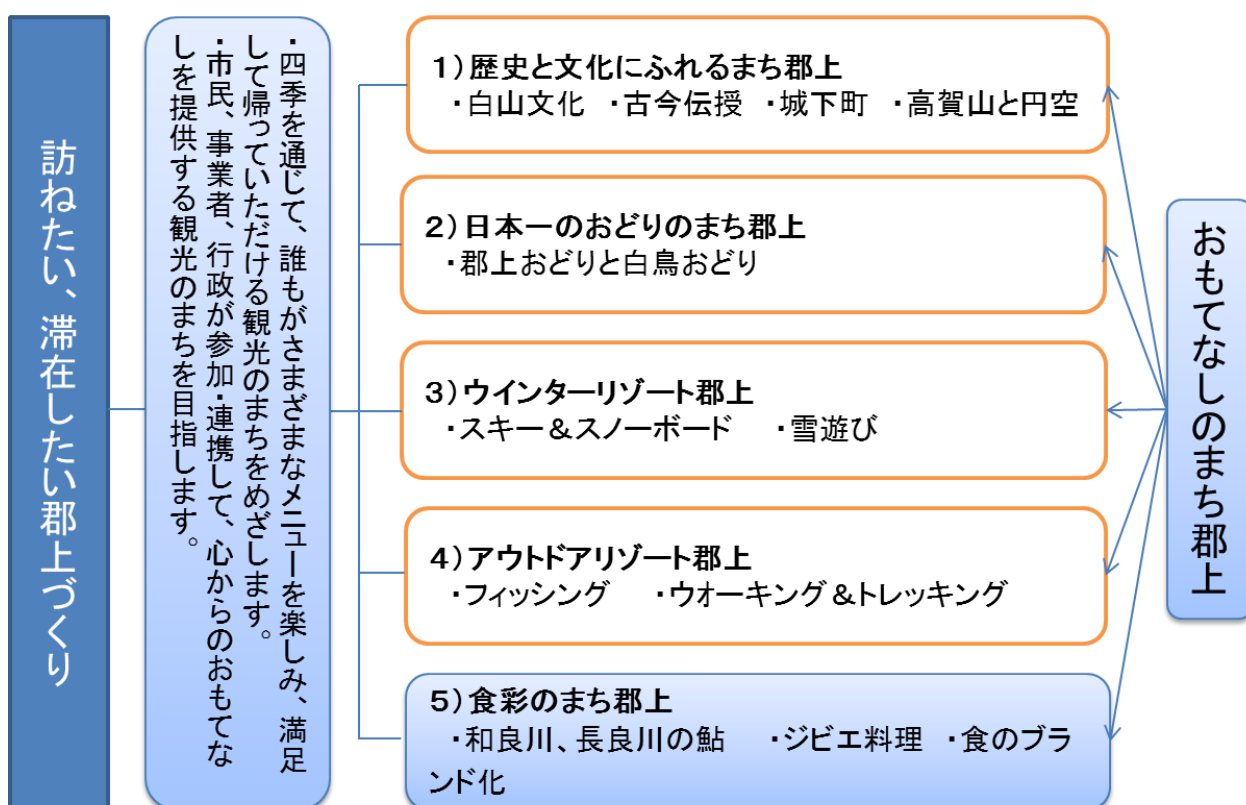
#### 【市民自らが誇りに思うまちづくり】

先人から受け継いだ観光資源に恵まれた郡上市。このまちを市民自らが誇りに思うとともに、次世代へ継承する観光のまちを目指します。

## 第4章 基本計画

### 1. 概要

郡上市の観光を振興するための具体的な取り組みを、次のとおり掲げます。  
この観光振興ビジョンは平成28年度から平成32年度までの5年間の計画です。



## 2. 観光振興の基本目標

地球温暖化が盛んに叫ばれる昨今、観光入込客数は気象条件や社会情勢に大きく左右されます。特に冬のスキー、夏のラフティング、釣りなどのアウトドア産業のみならず“郡上おどり、白鳥おどり”など、その影響が顕著に現れます。

基本計画では、歴史や文化、おどり、ウインターリゾート、アウトドアリゾートに「食彩のまち」も加えた5本柱とし、この主な施策を推進することで観光客数の増加を目指すとともに、今後は入込客をいかに増やすかの量ではなく、観光客の滞在時間や宿泊などの消費額の増加など質を高めることが必要と考え、満足度を高めリピーターが年々増加することを目指します。

平成22年～平成26年にかけての入込客数の増加率は5%でした。平成32年目標値については、今後高速道路網などの社会基盤整備による入込客数の増加やアジア地域の経済成長や円安に伴う外国人宿泊数増加によるプラス要因がありますが、少子高齢化や人口減少、経済の減速懸念などのマイナス要因も考慮し、増加率5%を目標値としました。

次の宿泊客数の増加の要因としては、キャンプ場などの入込客数の増加や外国人宿泊者の増加などがあげられますが、キャンプなどは天候に大きく左右されるため観光客数と同様に5%の増加率としました。

外国人宿泊客数については、ビザ発給の緩和や円安を追い風に訪日の機会は増加しており、国が東京五輪・パラリンピックが開催されるまでに年間訪日外国人観光客数の新たな目標数を4,000万人台に引き上げることも検討していることもあり、平成22年から平成27年と同様の増加率366%を目標値としました。

	平成22年 現状値	平成27年 現状値	平成32年 目標値
観光客数	599万人	635万人	666万人
宿泊客数	42万人	49万人	51万5千人
内、外国人宿泊客数	3千人	11千人	40千人

## 第5章 基本目標に基づく方向性

### 1) 歴史と文化にふれるまち郡上

郡上市は、全国的にも大変個性的で魅力ある歴史と文化を育んできた町です。この特色ある歴史・文化を大きな観光資源として、新たな魅力づけを工夫し育て模索しながら活かしていきます。

また、市内の各地域には、地域の歴史や文化を展示、紹介する博物館や資料館が各地域のシンボリック施設として整備されており、これらの施設との連携も行いながら、旅行企画を新規開発する取り組みを行います。

#### ① 白山文化

郡上市には霊峰白山に連なる山々があり、717年に泰澄大師が開山し、以後白山信仰が広まりました。郡上市北部には長瀧寺、長滝白山神社、阿弥陀ヶ滝、白山中居神社、石徹白大杉などがあり、こうした史跡や文化財、伝承地などを活用し観光客の誘導を図ってまいります。

また、白山山麓の石川県、福井県との連携による広域観光の推進に取り組んでいきます。

○阿弥陀ヶ滝から石徹白地域への観光客の誘導を図るため、白山文化博物館、道の駅白鳥、(仮称)長良川あゆパークを拠点とした商品開発。

○石徹白白山中居神社や石徹白大杉、銚子ヶ峰登山道など白山信仰の歴史を踏まえた観光宣伝活動の実施。

○泰澄大師が717年に白山を開山したと伝えられ、節目となる2017年に実施される白山開山1300年に絡めたイベント活動の実施。

#### ② 古今伝授

大和町はかつて和歌の名門であった東氏の拠点として栄えたところであり、第九代・東常縁は、連歌師宗祇に古今和歌集の奥義を授けて「古今伝授の祖」といわれました。このことから「古今伝授の里」と銘打って、和歌の里として地域づくりを行ってきました。古今伝授の里フィールドミュージアムでは、記念館や文学館、薪能のイベントやぼたん園などがあり、学習型リゾート、知的観光地といったコンセプトで集客を行っていきます。

- 万葉集（高岡）、古今和歌集（大和）、新古今和歌集（蒲郡）の連携事業の支援。
- ぼたんやあじさいなど「花」をテーマに連携した宣伝活動の実施。
- 能や文楽、茶道体験、地域の伝統工芸体験など和の文化を観光資源化し、歴史、文化に関心の高い旅行者に訴求する質の高い体験プログラムの充実。

### ③ 城下町

八幡地域市街地は、近世に遠藤氏が郡上八幡城を築いて以来、城下町として発展し今日を迎えています。

平成24年12月に八幡地域市街地の北町の一部が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、平成26年2月には郡上市歴史的風致維持向上計画の重点区域に市街地全体が認定されました。こうした中で、八幡地域市街地の歴史的建造物を地域資源と捉え、保存および活用する取り組みを推進し、魅力ある町家・町並み景観を地域活性化の柱としていきます。

- 神社仏閣を活かす企画開発や電線地中化、旧庁舎記念館の壁面塗装など景観に配慮した取り組みによる城下町としての魅力向上の推進。
- 日本最古の木造再建築城である郡上八幡城の改修とその登山道の街路灯設置等による城山一帯の整備事業を推進。
- 郡上八幡城において郡上歴史物語の実演。
- 郡上八幡市街地などの空き家利活用の支援。

### ④ 高賀山と円空

古来、高賀山信仰の拠点として、円空をはじめ多くの信者が歩んだ高賀街道。高賀山麓には新宮、本宮、星宮、高賀、滝、金峰、白谷の七つの社寺があり、それらを巡ることができます。

星宮神社の隣には初期から晩年までの円空の生涯や作風の変化を追うことのできる約95体の円空仏やパネルが展示されている美並ふるさと館があり、高賀山と円空をベースとしたスポット巡りを実施していきます。

- 県内にある円空仏が保存展示されている博物館等を巡る周遊観光ルートやパンフレット製作の実施。
- 関市、美濃市、郡上市にまたがる、六社一観音のパンフレット制作の支援。



⑤ 暮らし

郡上市には先人たちの苦勞によって築かれた歴史や文化があります。古き良きものを後世に伝えていくために明宝歴史民俗資料館、和良歴史資料館、新たに整備するたかす開拓記念館など資料館を拠点とし、農家民泊などを通じて観光資源として活用します。

また郡上市の歴史、文化を伝えるために、ドラマや映画などのロケ地として誘致できるよう、専用のホームページで素材の情報発信を行い、市民の方にはエキストラ出演などにご協力をいただきながら進めていきます。

- 農家民泊などによる山村生活体験等を通じた都市との交流の促進。
- 歴史民俗資料館などを活用した山間地域の生活様式などを伝えるフィルムコミッション事業の推進。
- 歴史的風致、農林水産資源、文化財、博物館、「道の駅」等の活用と連携した観光資源を磨く。

2) 日本一のおどりのまち郡上

郡上市には「郡上おどり」と「白鳥おどり」という全国でも類をみないロングランで行う踊りがあります。そのおどりをいつまでも伝承していくとともに、誰でも参加できるおどりとして広く周知し郡上の宝とします。

国指定重要無形民俗文化財で古い歴史を持つ八幡地域における郡上おどりは、毎年約32夜開催され、拝殿踊りが国選択無形民俗文化財となり、古い形を残す白鳥地域の白鳥おどりは毎年約20夜開催されています。お盆にはそれぞれ徹夜おどりが行われます。

日本一のおどりのまち郡上を定着させるため、キャンペーンや出張公演など宣伝活動を行います。

郡上おどり保存会、白鳥おどり保存会の後継者育成については、ジュニアクラブ、おはやしクラブの組織強化などを念頭に置きながら取り組んでいきます。

おどりを通じて、まち全体に対し「観光のまち」意識と観光資源としての「文化財保存継承」の意識向上に努めます。

郡上おどりと白鳥おどり

- 「日本一のおどりのまち郡上」を定着するための観光宣伝を首都圏や関西、東海、北陸圏域で実施。

- 友好交流都市や各地おどり愛好団体との交流事業の実施。
- 郡上おどり、白鳥おどりの愛好者が組織する団体との交流やお囃子の後継者育成のための講習会などの開催。
- おどり期間中、清掃活動参加者の確保を図るため、おどりサポーター事業を実施。

### 3) ウィンターリゾート郡上

郡上市内には11のスキー場があり、東海北陸自動車道の整備により東海圏を中心に関西圏からも多数ご来場いただいています。過去、スノーボードワールドカップを2回開催し、郡上市をホームゲレンデとした選手がソチオリンピックで銅メダルを獲得するなど国際大会に通用する選手育成の場として魅力あるものとなっています。

中部国際空港から近いという利点を活かした外国人の誘客に取り組むほか、郡上市内11スキー場が一体となり宿泊施設などと連携しながら“ウィンターリゾート郡上”としてブランド確立を行っていきます。

#### スキー&スノーボード、雪遊び

- スキー&スノーボードなど市内11スキー場による統一感あるウィンターリゾート郡上の発信。
- 郡上市出身選手等の支援や育成強化及び平昌（ピョンチャン）冬季オリンピック開催を見据えたナショナルチームの合宿誘致。
- 海外へのセールススクール及び海外修学旅行生の受入を検討。
- スキーなどスポーツへの指向性が高い外国人旅行者への訪日促進。（スポーツツーリズム）
- 1990年代のスキーブームの頃の経験者が親世代となり、親子で楽しむファミリー層をターゲットとした取り込み。

### 4) アウトドアリゾート郡上

自然の宝庫である郡上市において、山や川などの恵みを活かした自然体験、また歴史や文化にふれたり、住んでいる人々との交流を楽しむグリーンツーリズムは観光において重要なポイントであり、郡上市の得意とする分野となります。このグリーンツーリズムを柱として、ラフティングやカヌー、森林空間を

活用したアクティビティなどを組み合わせ、滞在しながらさまざまなアウトドアを楽しむことのできる観光地を目指します。

### ① フィッシング

長良川は流域の人々のくらしの中で清流が保たれ、その清流で鮎が育ち、清流と鮎は地域の経済や歴史文化と深く結びついています。このことが評価され、平成27年12月15日に、世界農業遺産に「清流長良川の鮎」が登録されました。

世界的に認められた豊かな自然と河川環境の中での暮らしや農業、伝統文化など、知名度を活用した観光誘客や農林産物・地場産品のブランド力向上などへの取り組みを実施していきます。

○「清流めぐり利き鮎会」でグランプリを受賞した“郡上鮎”、“和良鮎”などのブランド化を進め、郡上市内の漁業協同組合と連携した「釣りのまち」としての宣伝の実施。

○世界農業遺産「清流長良川の鮎」を活用した取り組みの推進。

○市内のフライ専用釣り堀やマス釣りができる釣り堀情報など、ニーズにあわせた情報提供の実施。

○全国レベルの釣り大会の誘致。

### ② ウォーキング&トレッキング

自然に親しむエコツーリズムの普及により、郡上市の最高峰、銚子ヶ峰や日本二百名山である大日ヶ岳登山、ひるがの高原ノルディックウォーキングなどには自然愛好者が多数訪れています。

郡上市の9割は山林であり、自然の恵みを体感できる資源が多くあり、コース案内書の作成やガイドの育成に向けた取り組みを支援します。

○夏場のスキー場などでの森林を活用したアクティビティを開発、通年型リゾートの支援。

○登山トレッキングなどのコース紹介や案内ガイドの育成。

### ③ ラフティング&カヌー

美並地域の長良川を中心として行われるラフティングやカヌーは、5月中旬から6月中旬ころに訪れる修学旅行生に人気があるスポーツです。これらアクティビティと宿泊業務が円滑に予約を行えるよう、郡上民泊推進協議会と連携を行っていきます。

○長良川を中心としたラフティングやカヌーなどの業者と行政、漁業協同組合、住民による協議、調整の実施。

### ④ 自然体験

郡上市の自然を活用したアウトドアは、都会の子どもたちに郡上ならではの自然体験を楽しんでもらい、そうした子供たちが将来リピーターとして訪れることが期待されます。市内のアウトドア事業者との連携を行い、自然体験プログラムの充実を図りながら滞在時間の延長を目指します。

○郡上民泊推進協議会などによる教育旅行の受入による農業体験、地元産食材を活用した食事のメニューの開発。

○アウトドア産業の連携によるオール郡上、滞在時間延長プログラム作成支援。

○アウトドア事業の商品造成のため、連絡調整検討会の設立による事業所間の調整など連携事業の推進。

### ⑤ スポーツツーリズム

北部地域では冬場、スキー研修などの団体予約、関西方面を中心にスキー学習の場として推進します。夏場の涼しい気候を活かしたスポーツ合宿誘致のために芝生化された吠高原スポーツ広場、合併記念公園などを活用したスポーツ合宿誘致を行います。

○スポーツツーリズムの推進（スポーツを「観る」「する」ための旅行に加え、スポーツを「支える」人々との交流や旅先で多様なスポーツを体験できる環境づくり）

○吠高原スポーツ広場、合併記念公園の涼しい環境やまん真ん中広場グラウンド芝生化によるアクセスの良さを活かしたスポーツ合宿誘致の推進。

○和良町の強みである全天候型屋内施設へのテニス、ゲートボール大会の誘致。

⑥ キャンプ

郡上市には17ものキャンプ場があり、場所、季節によってさまざまな表情と出会えます。キャンプは自然の中でひと時を過ごすので、日常生活とは違ったたくさんの経験ができます。

○それぞれが特色あるキャンプ場を通年で利用できる取り組みや宣伝活動を実施するための情報交換会の開催。

5) 食彩のまち郡上

郡上市における平成27年の観光動態は635万人といった状況であり、今後、東海北陸自動車道の4車線化や濃飛横断自動車道、中部縦貫自動車道など社会基盤の整備による交流人口の増加が期待できます。

郡上市は、高原野菜や鮎、ジビエなどの食材供給地でもあり、観光消費額を伸ばすには「食」の魅力を伝え提供していくことが大切です。「美味しいものが食べたい」、「地のものが食べたい」といった観光客の要求にこたえる観光戦略を描く必要があります。

道の駅などに併設する農産物直売所では、郡上ならではの新鮮で安心、安全な食材を提供しており、積極的なPRを行いリピーター確保に努めるとともに、地産地消を推進します。

- 世界農業遺産「清流長良川の鮎」を活用した産業間連携事業の実施。
  - 農家民泊事業によるNPO法人や農家などとの連携による地元料理の提供。
  - 食のイベントを通じた「観光」「食」の魅力を発信することにより、本場で味わいたいというインバウンド需要につなげ、関心を高める取り組みの実施。
  - 素材から加工まで一貫して提供でき、人気が高いプリン、シュークリームなど「ご当地ならではのスイーツ」による誘客活動の実施。
  - 増え続けている鳥獣害対策によって処理される野生の鳥獣（ジビエ）料理の支援。
  - 商品の個性あるブランド化を図り、観光関連産業と連携を行い観光客の誘致。
- 【総合戦略】
- 新たな食材、加工食品の開発支援。【総合戦略】

### 〇おもてなしのまち郡上

2013年に訪日外国人旅行者が初めて1,000万人を突破し、政府は2020年開催のオリンピック・パラリンピック東京大会までに、年間4,000万人に増やす目標を掲げるなど、今後ますます外国人旅行者の増加が見込まれます。

外国人の受入に積極的なホテルやレストラン、店舗など、外国人受入における配慮すべき事項や、簡単な英会話などの講習を実施し、受入体制の充実を図ります。加えてインターネットによる情報発信についても、日本語だけではなく多言語に翻訳した分かり易いものに置き換えるよう支援を行います。

また買物などにおける利便性向上のため、クレジットカード決済機能の普及やWi-Fi環境の支援など関係機関と連携して受入環境の整備を行います。

国内外を問わず観光客にハイランクのサービスを提供し、顧客満足度を高めていくことでリピーター確保に努めていきます。

特に市内には多数の道の駅や温泉施設、公共トイレなどが存在しており、地域密着型施設であり観光振興に対する重要な役割を担っています。それらが先導的な施設となるよう、施設も老朽化による修繕やバリアフリー等を目的とした改善、外国語も含めた利用者の目線にあった案内表示など計画的に改善を行ってまいります。

#### <海外>

〇少子高齢化など国内観光客の減少などが懸念されるため、外国人観光客誘致に向けた取り組みを広域連携などにより実施。

〇外国人集客へ向けたおもてなしポスターの制作と郡上市観光PRビデオ（8か国語：日本語、英語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、韓国語、スペイン語、フランス語、タイ語）活用による観光宣伝活動。

〇観光施設、宿泊施設、飲食店等における外国人旅行者への接遇向上を図るための講習会による、宗教・生活習慣等への配慮や基本的なコミュニケーションの習得支援。

〇外国人旅行者を含め防災・防犯対策を関係部局間で調整を行い、安心して滞在できる観光地の推進。

<国内>

- 来訪者が快適に滞在できるように市民や観光関連事業者と連携して、観光案内人や観光客受入基盤の整備。
- 道の駅周遊パスの検討など行い、観光施設間の連携や観光客の回遊性の促進。
- 長良川鉄道観光列車‘ながら’運行に伴い、近隣市と連携した“まちなか散策マップ”の制作、郡上八幡駅、美濃白鳥駅での案内人の設置。
- 観光ガイドや食事、体験メニューの充実など、魅力あるメニューづくりの実施。
- ボランティアガイド団体との情報共有、意見交換などを行いホスピタリティの向上を図る。
- 指定管理施設（道の駅、温泉など）や公共トイレの計画的な修繕の実施。
- 公共交通機関、二次交通、駐車場の利便性向上のため、鉄道やバス、タクシー会社との連携。

## 第6章 ビジョンの実現のために

郡上市をはじめ観光地を取り巻く環境は常に変化をしており、今後も東海北陸自動車道の4車線化、濃飛横断自動車道、東海環状自動車道、中部縦貫自動車道、リニア中央新幹線中津川駅開業、北陸新幹線の敦賀延伸など、社会基盤の整備が進められます。

郡上市が持続的に生き残っていくためには、観光動態を見据えながら戦略を練って観光資源のさらなる磨き上げを行うことにより、郡上ならではの観光客のニーズに即した魅力の発信や受入体制の整備を行う必要があります。そのため、第2期郡上市観光振興ビジョンを実現するためには推進する母体を明確にし、推進母体と各種団体・組織の連携のあり方、郡上の魅力を高める取り組みなどを示します。

### 1. 観光振興ビジョン推進のしくみづくり

#### 1) 観光客誘致を戦略的に行うための体制整備

##### (1) 新たな観光振興体制の強化

例えば自然あふれた本市にはアウトドア産業が盛んです。意欲を持った企業・個人が主体的に横とのつながりをうまく組み合わせ、共同による活動を進めれば滞在時間の延長も可能となります。そのため、民間企業などの観光振興に関わる個人・組織間の連携強化が必要となります。地域間の連携強化を実施し、他の地域の優れたものを呼び込むため、地域を補完する連携や地域外の多様性を持った人と連携し、協力・支援を求め実施していきます。

##### ◇観光事業者間の連携

→ 観光事業者同士の強化を図る ⇒ 連携事業の実施

##### ◇地域内における他産業との連携

→ 観光以外の他産業との連携 ⇒ 農林商観工などによる連携

世界農業遺産 「清流長良川の鮎」 での連携事業

##### ◇国・県・自治体との連携



→ 周遊観光の連携 ⇒ 国内外誘客事業の推進

高岡・郡上台湾誘致協議会

岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会

関・美濃・郡上・長良川鉄道観光宣伝協議会

東海地区外国人観光客誘致促進協議会

越前美濃街道広域観光推進協議会

環白山広域観光推進協議会

仮) 岡崎、蒲郡、浜松、郡上、中部国際空港連携

仮) 長良川流域観光推進協議会

## (2) 観光振興を推進する中心組織の強化

旧町村時代から行政主導による町村独自の方法で観光振興が進められてきましたが、合併後12年が経過し市の体制を変革する中で観光連盟においても地域独自の観光ではなく、市域として新たな体制整備の構築が必要となっています。例えば宿泊施設の季節変動対策など情報の一元化の管理により、迅速に対処する必要が出てきています。

また、観光のグローバル化に伴い、企画・行動力・経営感覚などに富んだ人材が必要となっています。観光振興をリードするリーダーを確保しあるいは養成していくため、郡上市観光連盟に専従職員を配置し円滑な業務を行っていきます。

### ◇郡上市観光連盟事務局に専従職員を配置

#### (1) 「収益事業の拡大」

○観光連盟賛助会員の獲得

○インバウンドにおけるランドオペレーター業務の支援

○修学旅行などで行う郡上農家民泊の支援

#### (2) 専門性や企画力の向上

①市観光課、各観光協会をけん引できる職員の専門性を育成

○商談会（旅行会社）向けの郡上市周遊カタログの制作

②市内民間事業者（会員）の取りまとめ、プロモーションの強化

各種プロジェクトの推進

- 外国人観光客の受入拡大
- 若年層の旅行需要の喚起
- 長期滞在型観光の推進
- アウトドア関連産業の連携
- ③県観光連盟等の他団体との連携
  - 連携強化による事業費の効率化や事業効果を追求

**【国内誘客】**

県、県観光連盟等が行う各種商談会、イベントへの参加

**【海外誘客】**

国・県等が行う海外商談会、セールスコールへの参加

- ④観光地域づくりの中心となる組織・機能の確立

○観光により地域を活性化させるためには、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりが必要です。そのかじ取り役としての役割を果たさせるため、観光庁が推進する「日本版DMO」についても検討を進めます。

DMO : Destination Management / Marketing Organization

## 2) 観光資源の価値を創造していく

素材提供中心の対応から、新しい発想により観光資源の活用方法を考え、見て楽しむだけではなく価値を創造していく必要があります。

森林空間を活用した恐竜体験が売り物のディノアドベンチャーライドやジップラインアドベンチャー、地上8メートルで繰り広げられる冒険の森など自然と調和しながらアクティビティを充実させ、誰もが満喫できるような取り組みが実施されています。

平成28年春より運行する長良川鉄道観光列車“ながら”などは、定評ある車窓からの眺めに加えて、既存車両2両を食堂専用観光列車と豪華観光列車にリニューアルし顧客満足度を高めます。

このように新しい発想から観光資源を提供していく方向で、他との差別化を図っていく必要があります。

観光資源の活用と運営についても本市には、一般財団法人郡上八幡産業振

興公社、郡上大和総合開発株式会社、株式会社しろとりなど地域に根ざした民間団体・企業があり、複数の観光資源・施設を総合的に管理し、全体で経営を成り立たせていくことが不可欠です。

そうした民間との協力関係を強固にしながら本市の自然環境、観光資源、歴史文化など、地域が持つ豊かな資源を活かした交流を図り、今後につながるよう郡上を好きになって何度も訪れてくれるリピーターの確保に努めていきます。

### 3) 道の駅を核とした周遊観光

市内には7つの道の駅があります。道の駅には一般道路において「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」があり、地域の特色を活かしたアンテナショップの役割を持つ道の駅自体が観光資源です。平成27年度に発足した郡上市道の駅連絡協議会との連携を密にし、周遊観光プランの提案を行い滞在時間の延長を図っていきます。そのため地域の資源が集まる道の駅を活用し、それぞれが地域の案内窓口としての機能を果たせるよう強化していきます。

### 4) 伝統的観光資源の継承と振興

郡上の歴史や文化にふれる中で、郡上おどりや白鳥おどり、薪能、地歌舞伎、祭礼、郡上本染め、白山文化など、地域に愛され脈々と続く地域文化を観光資源として、末永く保存伝承し日本に1つだけの観光資源としてPR活動を行い、周遊観光コースの開拓を行うなど一層の磨き上げを行います。

## 2. 郡上市の魅力高める取り組み

郡上市が平成25年度に行った郡上市GAP調査では、まだまだ磨き上げを行う必要がある観光資源や、リピーター確保のための満足度向上を図るためおもてなしや受入体制の整備など、行政や観光施設のそれぞれの取り組みではなく、地域が一丸となった誘客体制を強化していく必要があります。そのため相互の情報を共有し効果ある協働事業を展開していき、郡上の魅力を高めていきます。

### ◇満足度の向上

#### (1) 宿泊施設の魅力向上します

宿泊者のニーズは多様化しており、旅行形態やその目的に対応したニー

ズに応じていく必要があります。様々な観光客を受け入れられるよう今ある宿泊施設の情報を整理し、情報提供を行いながらその魅力を訴求します。

**(2) おもてなしを向上します**

観光客へのおもてなし対応（接遇やサービス）を高め、世界農業遺産に登録された「清流長良川の鮎」などを活用した「食彩のまち郡上」として、おもてなしを実施していきます。

**(3) 人にやさしい観光地づくりを進めます**

公共トイレの改修やバリアフリー化、案内看板の見易さなど、人にやさしい施設となるよう配慮した取り組みを推進していきます。

今後とも増加すると予想される外国人観光客が安心して快適に訪れていただけのように、おもてなし講座の開催や看板、表現方法の統一化などを実施していきます。

**(4) 安心・安全な観光地を目指します**

災害などに備えて安心して観光できるような取り組みについて先進事例を活用しながら取り組んでいきます。

**(5) 二次交通対策を進めます**

郡上市には個人旅行による自家用車で来訪される方が多く、今後増加する高齢者の方や高速バス、レンタカーで訪れる観光客向けの二次交通案内や乗り換え案内など行っていきます。

外国人観光客向けには、国が進める高速道路の路線番号制度に向けた取り組みを、郡上市が制作するパンフレット等にも今後取り込んでいき、レンタカー利用者の観光客らにわかりやすい情報提供を行っていきます。

**◇誘客に向けた情報発信の強化**

**(1) PR・キャンペーン事業を推進します**

観光動態調査などによると、中京圏はもとより北陸圏域からも多数の観光客の方が来訪していることがわかりました。従来から実施している中京・関西圏と比較して、北陸圏域は露出が少ないため、まだまだPR活動などを行っていけば伸びる余地はあると思われれます。それぞれの地域に向けたPR活動や旅行博への出展など、効果的な活動を実施していきます。

**(2) フィルムコミッション事業を推進します**

平成27年度に立ち上げた郡上市ならではの撮影地などを紹介したホームページをマスコミ関係などに広く周知する活動を継続して実施します。

またメディアサポーターなど市民のご協力をいただきながら事業を推進していきます。

### (3) 地域経済分析システム（RESAS：リーサス）の活用による観光戦略を実施します

郡上市の「歴史と文化にふれるまち郡上」、「日本一のおどりのまち郡上」、「ウインターリゾート郡上」、「アウトドアリゾート郡上」、「食彩のまち郡上」などの観光振興への取り組みを、「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」を活用し、可視化されたデータを基に効果的な情報発信を推進します。

#### ◇ 広域連携体制の強化

郡上市内において情報の共有化を図り一体的な展開を図っていくため、観光協会間の連携事業について郡上市観光連盟と協力を行いながら推進していきます。

また、インバウンドについては広域連携の協議会や「昇龍道プロジェクト」などへの参加協力を行い、国際的に知名度が上がる取り組みを連携して実施していきます。

- ・インバウンドを目的とした広域協議会の継続、ビジットジャパン事業への参加、東南アジアへのセールスコール。
- ・観光協会、民間施設などの連携による農家民泊体験を通じた修学旅行の誘致。
- ・広域な情報発信、広報体制の強化。